

遺伝子発現制御学講座

Gene Expression and Regulation

准 教 授 甲斐田大輔 Daisuke Kaida

◆ 著 書

- 1) 甲斐田大輔. 阻害剤・活性化剤ハンドブック. 秋山徹, 河府和義 編. 東京. 羊土社. 2019 Oct 1. 第 22 章, mRNA スプライシング関連薬剤 ; p. 347-55.

◆ 原 著

- 1) Kaida D. Spliceostatin A treatment inhibits mitotic clonal expansion and adipogenesis. *Biochem Biophys Res Commun.* 2019 Jun 30; 514(3): 848-52. doi: 10.1016/j.bbrc.2019.04.180.

◆ 学会報告

- 1) 村岡慎太郎 **, 林めぐみ, 甲斐田大輔. Rbm38 はスプライシング阻害による転写伸長抑制を解除する. 生化学会北陸支部 第 37 回大会 ; 2019 Jun 1 ; 福井.
- 2) 甲斐田大輔, 石田健, 佐藤崇之. Study on the molecular mechanism of G2/M arrest caused by splicing inhibition. 第 21 回 日本 RNA 学会年会 ; 2019 Jul 17-19 ; 東京.
- 3) 村岡慎太郎 **, 林めぐみ, 甲斐田大輔. Rbm38 はスプライシング阻害による転写伸長抑制を解除する. 第 21 回 日本 RNA 学会年会 ; 2019 Jul 17-19 ; 東京. (ポスター).
- 4) 甲斐田大輔. Do the proteins translated from pre-mRNA have physiological functions?. 第 42 回 日本分子生物学会年会 ; 2019 Dec 3-6 ; 福岡. (シンポジウム・ワークショップ パネル).

◆ その他

- 1) 甲斐田大輔. スプライシング異常が細胞周期進行に与える影響の解析. HOKURIKU RNA CLUB & 第 7 回富山 RNA 倶楽部合同シンポジウム ; 2019 Mar 5 ; 富山.
- 2) 村岡慎太郎 **, 林めぐみ, 甲斐田大輔. Rbm38 はスプライシング阻害による転写伸長抑制を解除する. 第 6 回北陸エピジェネティクス研究会 ; 2019 Oct 30-31 ; 福井.
- 3) 甲斐田大輔. スプライシング異常が細胞周期停止を引き起こすメカニズムの解析. 第 6 回北陸エピジェネティクス研究会 ; 2019 Oct 30-31 ; 福井.
- 4) 甲斐田大輔. スプライシング異常が転写伸長を抑制する機構の解明. HOKURIKU RNA CLUB 2019; 2019 Dec 11 ; 金沢.